

K-ARCシンポジウム2021

～今、考える・取り組むSDGsと
サステナブルな社会実現のための研究～

参加費無料

オンライン併催

2021年**11**月**24**日（水） 13:00～17:00

鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール
（山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2）

定員：70名 ※新型コロナウイルス感染予防のため事前申込みが必要となります

申込締切：11月17日（水）

13:10～
基調
講演

「社会を駆動する大学のSDGs」

京都先端科学大学 バイオ環境学部長・教授 福田 裕穂 氏

14:20～
招待
講演

「微細藻類バイオマスの大規模生産と
その社会実装に向けた取り組み」

筑波大学大学院 生命環境科学研究科 教授 鈴木 石根 氏

研究事例
紹介

15:20～ 「GEAR5.0【防災・減災・防疫】の取り組みと学生を巻き込むSDGsの種」
沖縄工業高等専門学校 生物資源工学科 教授 池松 真也 氏

15:50～ 「材料の抗菌性、抗ウイルス性、抗バイオフィルム性と
その評価法・産業上の意義について」
鈴鹿工業高等専門学校 材料工学科 教授 兼松 秀行 氏

16:20～ 「バイオエコノミー社会の実現を目指す“鶴岡バイオコミュニティ”」
鶴岡工業高等専門学校 創造工学科 化学・生物コース 准教授 斎藤 菜摘

お問合せ
お申込み

鶴岡工業高等専門学校 総務課企画・連携係

TEL: 0235-25-9453 FAX: 0235-24-1840

E-mail: kikaku@tsuruoka-nct.ac.jp



「社会を駆動する大学のSDGs」

京都先端科学大学 バイオ環境学部学部長・教授 福田 裕穂 氏
(前 東京大学 理事・副学長)

五神前総長の下、東京大学ではSDGsを基本とする社会改革をリードすることをめざし、FSI (Future Society Initiative) という組織を立ち上げ、様々な施策を実施してきました。その本部長は総長で、私は副本部長でした。また、数年前になりますが、私は、文部科学省の大学発グリーン・イノベーション創出事業(植物科学分野)「植物CO₂資源化研究拠点ネットワーク(NC-CARP)」の責任者を務めました。本講演では、このFSIとNC-CARPについてお話し、大学と社会との協創によるSDGsの推進を考えてみたいと思います。



「微細藻類バイオマスの大規模生産とその社会実装に向けた取り組み」

筑波大学大学院 生命環境科学研究科 教授 鈴木 石根 氏

持続可能な社会の構築のためには、カーボンニュートラルな石油代替燃料・原料の入手が不可欠です。様々な再生可能エネルギーは電気を作り出すことができますが、バイオマスに由来する資源だけが物質としても利用可能です。微細藻類は陸上植物に比べて遥かに油脂生産性が高く、バイオマス由来の石油代替資源として期待されています。しかし現状は、生産、回収、抽出、改質に多くのコストがかかっています。これらの課題について説明し、カーボンニュートラルなバイオ燃料製造のための我々の試みを紹介します。

K-ARCシンポジウム2021

参加申込書

来場、オンラインともに完全事前予約制です。以下申込書の内容を、電話、FAXまたはE-mailにてお申込みください。

申込日 / 令和 年 月 日

来場参加 オンライン参加

※希望する方へ○を付けてください。

氏名	フリガナ	電話番号	
E-Mail			
ご住所	〒		
お勤め先 (学校名)		お役職 (学年)	

(記載いただきました個人情報は本シンポジウムの参加者管理とご案内のみに利用し、その他一切の二次利用は行いません)

【新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する方針】

新型コロナウイルス感染症拡大防止と受講者の健康・安全を考慮し、以下の方針によりシンポジウムを開催します。

- ①会場内の備品・設備のアルコール消毒を徹底します。
- ②受講者の座席は間隔を広げて配置します。
- ③会場の入り口に検温器、アルコール消毒を設置します。
- ④スタッフはマスクを着用します。受講者の皆様にもマスクの着用をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、WEB開催になる場合がございます。

その際は、こちらからご連絡をさせていただきますので、必ずご連絡先(TEL、FAX、E-mail)をご記入ください。